イクボス･女性活躍推進事業【坂井市】

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭においても男性の家事・育児参画時間が短い。また、土地利用の34%が田畑であるなど農業が盛んであり、農業に従事する女性も多い。
　製造業中心の産業構造による長時間労働や離職率の高さなどが課題となる中、イクボス推進が必要不可欠である。農業に関しては女性が男性を陰で支えるケースが多く、農業従事者の47%を占める女性にスポットライトが当たる機会が少ない。

目的･目標

本市の実情と課題を踏まえ、企業間ネットワークでの定期的な研修等を通してイクボスを普及推進し、イクボス宣言企業や県の女性活躍推進企業の増加を目指す。また、農業においても女性農業者のネットワーク形成を促し、新規就農者の拡大や所得向上を図る。
■市内のイクボス宣言企業 目標58社（R3末で56社…未達成）
■市内の女性活躍推進企業 目標30社（R3末で29社…未達成）
※R3までの目標値

事業の特徴

本市を含むイクボス推進企業のネットワークを設立し、官民一体となって事業を実施することで相乗効果を図る。これにより成功事例からロールモデルを生み出し、今後の継続的な実施と浸透にも繋げていく。
　農業に関しては女性農業者のネットワークを形成し、市が展開する地場産品PR事業等との連携を積極的に行うことで、女性農業者からのフィードバックを施策に活かしていく。

連携団体

坂井市イクボス共同宣言企業　　65社
坂井市イクボス推進企業ネットワーク　参加企業8社
（本年度）

事業の効果

ネットワークに複数年参加している企業では、イクボス推進への意識が相乗的に高まり、より実効的な変化に繋がっている。イクボス宣言企業も増加し、市内の女性活躍推進意識が着実に高まっている。また、学び女史プログラムでは修了生を含めたネットワークが構築され、管理職への登用意識など職場での活躍機運が高まっている。

農業女史プログラムでは、視察や研修を通してメンバー間の交流が深まり、積極的な意見交換が行われている。

今後の課題

■先進企業の視察を再開し、視察によって得た知見を自らの職場に反映しやすいセミナー内容とする

■キャリアアップに向けた実践的な内容を取り入れ、女性の管理職への意識向上を目指す

■SNS等も活用しながら農業女史の認知向上を目指す

事業の概要

８月　事業開始

イクボス推進企業ネットワーク

市内企業に勤務する管理職前の中堅職員（プレ・イクボス）を募り、講義やグループワークなどを通してイクボスに必要なスキルや社内での浸透手法などを学んだ（8事業所・10人が参加）

10月5日（火）　第1回「イクボスとはなにか」
11月9日（火）　第2回「イクボスから働き方改革や女活へ」
12月8日（水）　第3回「新しい働き方の自社への展開を進める」

８月19日(木)

イクボスデー

令和3年度のキックオフ事業として、新しい働き方を考えるイベントを完全オンラインで実施した。オンラインを強みを生かし、全国４か所を繋いだ企業、大学生、高校生によるトークセッションを盛り込んだ。

基調講演　イクボス進めたらこんなに会社が変わった !!

講師：株式会社大堀商会 (新潟県新発田市) 代表取締役社長　大堀 正幸氏

基調講演では、新潟県新発田市でリフォーム業を営む株式会社大堀商会の大堀正幸氏がオンラインで登壇。自らの社長としての経験をもとに「イクボス」式の経営についてご講演されました。

職場内での徹底したスケジュール共有や商圏の絞り込みなど具体的な業務効率化の手法が紹介され、「イクボス」で会社が変わることで後継者が育ち、将来的には新たな挑戦・商機にも繋がっていくことを示されました。

SDGs 理解促進講演　SDGs ってなに？ 「働く」「生活する」との関係を知る

講師：合同会社 WLBC 関西　執行役員　福井 正樹氏

SDGs 理解促進特別講演では、合同会社 WLBC 関西の福井正樹氏が登壇し、SDGs(持続可能な開発目標) の 17 のゴールについて、近年の社会の動き等に触れながら、私たちの生活や働くこととの関わりを説明されました。
SDGs は地球規模の課題である一方で、私たち一人一人の生活に関わる身近な問題でもあることを伝えられました。

トークセッション　働きたい側・雇いたい側の本音を探る

モデレーター：合同会社 WLBC 関西　執行役員　福井 正樹氏
登壇者：第一生命保険株式会社　リコージャパン株式会社
福井県大生、鯖江高校生

トークセッションでは、京都府の福井氏、新潟県の大堀社長、鯖江市の高校生がオンラインでつながり、配信会場の坂井市役所からは企業２社と福井県立大学の大学生２名が参加。それぞれの立場からどんな職場で働きたいか、どんな社員を雇用したいか、率直な意見を交換しました。

▲報告書の作成・
配布（新規啓発）

事業の概要

学び女史プログラム

7月　事業開始

市内在住または在勤の女性を対象に、連続セミナーを開催。各回に地域で活躍している女性を招き、モデレーターとの対談を通じて生き方、考え方を伝えるトークセッションを実施。自分らしい生き方を考え、仕事も家庭も大事にできる心構えやテクニックを学んだ。

７月８日（木）第１回
「笑顔が人を元気にする！明るく前向きな自分でいるために」

福井商業高校チアリーダー部顧問五十嵐 裕子氏を招き、生徒と接する中でのエピソードや私生活での心持ちを披露した。なりたい自分や叶えたい夢をはっきりと意識すること、失敗を客観的に捉えることなど、日々を前向きに生きるためのテクニックを伝えた。

８月５日（木）　第２回「農業女子に学ぶ！食と健康！」

農家レストラン「KAWAI NOUEN＋café」のオーナーやさかい農業女史のメンバーとして農産物の魅力を伝えている川合 久利子氏を招き、無理をせず、けれど、できることは断らずにやってみる心持ちを披露した。また野菜を使ったパフェの作り方も披露し、参加者を驚かせていた

９月15日（水）第３回
「今こそポジティブメイク！～自分に合うカラーを選ぼう～」

メイクセラピストとして活躍する蓑輪 恵理子氏を招き、自分の好きなものに従って起業をした経緯やお客さんとの関わりの中で自分が変わったことなどのエピソードを伝えた。また、手帳・ノートを使った時間の活用術やなりたい自分になれるメイク方法も披露した。

◀報告書の作成・
配布（新規啓発）

事業の概要

農業女史プログラム

4月　事業開始

現に農業に従事する女性や農業に興味のある女性、加工品を取り扱う女性などを対象とした研修や会合を行うことでネットワークを形成し、参加者同士によるグループ活動の活性・拡大化、情報発信の強化を図り、農業において女性が活躍するための環境づくりを推進。

●販売・マルシェ出店

6月19日（土）
はたらくくるま大集合＆スイーツフェア
（マルシェ出店）

7月22日（木・祝）
音楽のちから
（マルシェ出店）

10月10日（日）
「SAKAI♡WEDDING」とのコラボ
（クッキーを制作及び配布）

10月23日（土）
バスタへGO
（マルシェ出店）

11月23日（火・祝）
ゆりの里DEかぞくデイ
（マルシェ出店・やさい釣り）

3月21日（月・祝）
三国港市場朝市プレ開催イベント
（マルシェ出店・やさい釣り）

●3月8日（火）
先進地視察(小浜市・(有)タカノ)

●3月29日（火）
Instagram講習会

●1～2か月に1回の会議(本年度は5回)

メンバー同士で知識の共有や継承がなされるとともに、マルシェ出店などを通じて市民の認知度も向上してきている。